

【只見町】

2019年度 ユネスコエコパーク関連事業

2019年度 第4回「只見こども芸術計画」を実施！

2019(令和元)年12月16日(月)、第4回只見こども芸術計画「ブナの森の道具屋さん」が実施されました。朝日地区放課後こども教室の子どもたち7名(小学1-2年生)が参加し、これまでのワークショップで子どもたちが創作した作品をただみ・ブナと川のミュージアムにおいて展示し、展覧会を多くの人に見てもらうための招待状を創作しました。

はじめに、事前に展示しておいた子どもたちの創作品であるブナの森の道具、展覧会の看板やアーティストの岩田とも子さんが自然素材を使って創作した作品を見学しました。子どもたちは、展示されている自分たちの作品を見てどこか誇らしげであったり、他の友達が作った作品に興味深く見学していました。また、岩田さんの作品にも興味津々で、これまで自らが参加してきたワークショップでの出来事を思い返していました。

次いで、この「ブナの森の道具屋さん」の展覧会が「ただみ・ブナと川のミュージアム」の休憩室で行われていることを多くの人に知ってもらい、来てもらうための招待状作りを行いました。招待状は、ブナの葉を描いて作りしました。子どもたちは、岩田さんやブナセンターの職員からブナの葉の特徴を聞きながら、また実物のブナの葉っぱを観察しながら、その特徴を捉えて、葉の輪郭や葉脈を書き上げていきます。そうしてできたブナの葉の片面には、クレヨンや色鉛筆を使い色を塗ったり、写真を貼ったりして自分だけの招待状にしていきます。一色でまとめたものやたくさん色を使ってカラフルにしたもの、実際のブナの葉っぱを貼り付けたものなど個性が光ります。クレヨンも欠片を指で紙に押し付けて塗ったりするなど道具の使い方の工夫も見られました。葉っぱのもう片面には、森の生きものに向けた招待メッセージを書き込みます。カエルやキツツキなどの動物からブナの木や葉っぱなどに宛てたものがあり、こどもたちの想像力の豊かさを感じました。この創作が気に入り、招待状の材料を自宅に持って帰り、後日、ブナセンターまで新しい招待状を作って持ってきてくれた子どももいました。招待状は会場で展示されたほか、複製したものを後日子どもたちに渡し、家族などに渡してもらいました。

こうして完成した「ブナの森の道具屋さん」展は、2020(令和2)年2月24日(月・祝)までただみ・ブナと川のミュージアムの休憩室で開催されます。その後、3月1日(日)には朝日振興センターで実施される「朝日のいいもの集めちゃった市」でも展示される予定です。



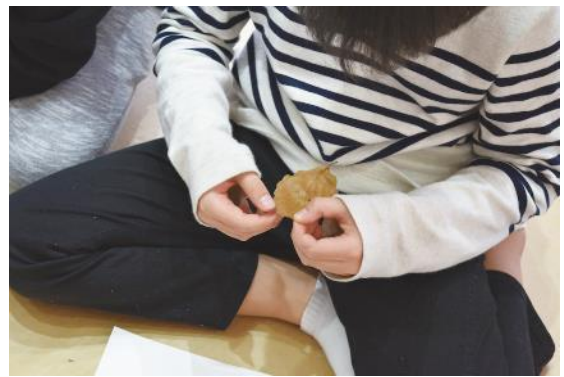
熱心に自分たちの作品を眺める



岩田さんの作品に興味津々



ブナの葉っぱの形を説明する岩田さん



ブナの葉の実物も手にとって観察する



ブナの葉を描く



描いたブナの葉に色を付けてみる



ブナの葉の裏面に森の誰かに宛てたメッセージを書く



完成した招待状と記念撮影



完成した展示の様子（上・下）

子どもたちの作品（森の道具、看板、招待状）、岩田さんの作品、これまでの活動を紹介したパネルなどが展示されている。

【担当】 只見町役場地域創生課ユネスコエコパーク推進係
TEL 0241-82-5220